



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松井 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 山戸 康彦
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,423	0.7	112	63.0	139	51.4	59	72.9
29年3月期第3四半期	7,474	5.7	303	12.6	286	21.2	218	10.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	2.71	
29年3月期第3四半期	10.00	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,195	11,091	52.3
29年3月期	19,474	10,916	56.1

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 11,091百万円 29年3月期 10,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				6.00	6.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	2.9	250	45.0	230	44.2	160	55.0	7.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	21,974,000 株	29年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	146,533 株	29年3月期	145,704 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	21,827,802 株	29年3月期3Q	21,828,500 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 当社の財務諸表及び財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績及び雇用情勢の改善や設備投資の持ち直しが進み、加えて輸出増による押し上げ効果等も背景にして、景気は回復基調を増しながら安定的に推移しています。

化学工業におきましても、経済成長に連動した中で石化市況を中心に追い風が吹き、引き続き需要は堅調に推移しており、今後の原油価格や輸出販売価格の変動等の影響懸念はあるものの、事業環境は底堅く推移しています。

このような状況下、当社は平成29年3月期を起点とする3ヵ年の中期経営計画を基に、『「世界で存在感のあるファインケミカル創造企業」を目指す～「未来志向のものづくり」に挑戦～』を基本方針に掲げ、重点施策及び各種経営課題への取り組みを行っているところであります。

当第3四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比0.7%減の7,423百万円となりましたが、新規設備稼働等のための雇用増による人件費の増加等を主因とした売上原価の上昇に伴い、営業利益は前年同四半期比63.0%減の112百万円となり、経常利益は前年同四半期比51.4%減の139百万円、四半期純利益は前年同四半期比72.9%減の59百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次の通りであります。

(単位：百万円)

	平成29年3月期第3四半期累計期間				平成30年3月期第3四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	909	1,864	2,774	37.1	853	1,793	2,647	35.7
化成品関係	1,833	380	2,213	29.6	2,155	445	2,601	35.0
医薬品関係	1,517	968	2,486	33.3	1,608	566	2,174	29.3
合計	4,260	3,213	7,474	100.0	4,618	2,805	7,423	100.0
構成比(%)	57.0	43.0	100.0		62.2	37.8	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【アミノ酸関係】

ビタミン原料の販売が減少したことにより、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

【化成品関係】

特殊触媒及び医薬用原料等の国内販売が増加したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

【医薬品関係】

既存薬や新薬中間体等の販売が輸出中心に減少したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態に関する分析

当第3半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次の通りであります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から214百万円減少し、8,634百万円となりました。これは主に、製品の増加と、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から1,935百万円増加し、12,560百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から471百万円増加し、5,541百万円となりました。これは主に、短期借入金、設備関係電子記録債務の増加と、賞与引当金、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から1,074百万円増加し、4,562百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から175百万円増加し、11,091百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加と、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点における当社の平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,419	1,102
受取手形及び売掛金	3,430	2,860
製品	2,567	3,003
仕掛品	408	341
原材料	828	1,032
その他	194	295
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,849	8,634
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,405	1,410
機械及び装置（純額）	1,577	1,552
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	1,218	2,965
その他（純額）	980	915
有形固定資産合計	8,291	9,954
無形固定資産		
無形固定資産	112	95
投資その他の資産		
投資有価証券	2,034	2,381
その他	186	128
投資その他の資産合計	2,221	2,510
固定資産合計	10,625	12,560
資産合計	19,474	21,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,293	1,344
電子記録債務	167	239
短期借入金	1,700	2,000
1年内返済予定の長期借入金	614	579
未払法人税等	36	15
賞与引当金	181	97
設備関係電子記録債務	398	739
その他	678	526
流動負債合計	5,070	5,541
固定負債		
長期借入金	1,743	2,720
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	855	911
資産除去債務	14	14
その他	274	315
固定負債合計	3,488	4,562
負債合計	8,558	10,104

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,353	3,281
自己株式	△46	△46
株主資本合計	10,028	9,955
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	719	967
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	888	1,135
純資産合計	10,916	11,091
負債純資産合計	19,474	21,195

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,474	7,423
売上原価	5,753	5,945
売上総利益	1,721	1,477
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	326	325
賞与引当金繰入額	22	21
研究開発費	374	291
その他	694	726
販売費及び一般管理費合計	1,417	1,365
営業利益	303	112
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	57
雑収入	19	25
営業外収益合計	54	83
営業外費用		
支払利息	32	33
支払手数料	26	14
雑損失	13	9
営業外費用合計	72	56
経常利益	286	139
特別利益		
投資有価証券売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除却損	21	45
特別損失合計	21	45
税引前四半期純利益	294	94
法人税等	76	35
四半期純利益	218	59

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。